



新生児マススクリーニング検査について

新生児マススクリーニングとは、先天代謝異常などの病気を早期発見、早期治療することにより障害の発症を予防することです。対象となる疾患は、検査の負担が軽く、治療可能で、かつ放置すれば障害を引き起こすような病気です。わが国では公費負担により1977年10月より4種類のアミノ酸代謝異常症、ガラクトース血症を対象として全国レベルでスタートしました。続いて1979年に先天性甲状腺機能低下症、1989年に先天性副腎過形成症が追加され、6疾患を対象としたスクリーニングが行われるようになりました。2014年より従来の検査方法に加えてタンデム質量分析計（タンデムマス）が全国で導入され、尿素回路異常症、有機酸代謝異常症、脂肪酸代謝異常症が対象疾患に加わり20疾患が対象となりました。さらに今年（令和6年）4月より、「脊髄性筋萎縮症（SMA）」と「重症複合免疫不全症（SCID）」の2疾患が新たに対象疾患として加わりました。

SMAは脊髄の運動神経が変化していき働かなくなってしまうため、それによる筋力低下が起こる病気です。そのためいつまでも首が座らない、歩けないなどの運動発達不全が認められます。さらに症状が進行すると呼吸不全などにより死亡してしまう病気です。また、SCIDは生まれつき免疫を司るB細胞やT細胞の異常により免疫機能低下が起こることで、通常であれば自然治癒が可能な細菌、ウイルス、真菌（かび）による感染症が重症化し致命的になる病気です。いずれの疾患も無治療の場合、ほとんどのお子さんが生後6ヶ月前後で死亡してしまう可能性の高い重症疾患です。

SMAは遺伝子治療などの新しい治療方法を早期に治療導入することで歩けるようになるなどの症状改善が望めます。SCIDは診断確定できれば発症前に造血幹細胞移植を行うことで治癒が可能な疾患です。おおよそ4万人に一人の頻度で発生するまれな疾患ですが、最近では早期発見・早期治療により救命率が上がってきているため、この度公費によるスクリーニングが開始されるに至りました。ただし、この2つの疾患はいかに早く見つけて、発症前に治療を開始するかが重要なポイントになります。山口県内で診断や治療を行える医療施設は山口大学医学部附属病院 小児科のみです。治療前に診断や治療方法を確定するための様々な検査を行う必要があるため、マススクリーニングで発見された場合は、直ちに山口大学病院を受診し適切な検査、治療を進めていかななくてはなりません。

今回、この2疾患のマススクリーニング事業が開始されるにあたり、山口県内の産科医師、小児科医師で討議を重ね、マススクリーニングで疾患が見つかった場合にはマススクリーニングを施行した医療機関から山口大学病院へ紹介受診がすみやかに可能となるよう、また保護者の方の不安を軽減できるよう万全な連絡体制を構築しています。

不明点などがありましたら、かかりつけの産科、小児科にお問い合わせください。

新生児科 診療部長 長谷川 恵子



マタニティレシペ

カリウム・カルシウム・マグネシウム等のミネラルを多く含むいりこやアーモンドを使用した箸休めです。

生姜がアクセントになっていて美味しいです。生の生姜を使った方が美味しいですが、チューブのおろし生姜でも大丈夫です。ぜひ作ってみてください。



『いりこアーモンドの生姜の佃煮』

栄養情報	【1日の推奨量】
・エネルギー	375 kcal
・たんぱく質	32.7 g 【50g】*1
・脂質	18.7 g
・炭水化物	21.7 g
・カリウム	760 mg
・カルシウム	960 mg
・マグネシウム	190 mg 【270~290mg】*2
・鉄分	8.5 mg 【6.5mg】*3
・亜鉛	4.4 mg 【8mg】*4
・塩分	2.2 g

*1 中期+5g, 後期+25g, 授乳期+20g
 *2 初期・中期・後期+40mg
 *3 初期+2.5mg, 中期・後期+9.5mg, 授乳期+2.5mg
 *4 初期・中期・後期+2mg, 授乳期+4mg

材料（作りやすい分量）

- ・いりこ 40g
- ・アーモンド 30g
- ・生姜 ひとかけ
- ★ ・砂糖 大さじ2杯
- ・みりん 大さじ1杯
- ・濃口醤油 大さじ1杯



作り方

- ① アーモンドを袋に入れて砕く。
- ② いりこアーモンドを乾煎りする。皿に移して冷ます。
- ③ 生姜と調味料★を入れて加熱し、沸々として粘り気が出てきたら火を止める。
- ④ ③に②を加えて、さっくりと混ぜる。

【レシピ提供】栄養管理部

センター稼働状況

分娩数	30件	緊急帝王切開	6件
母体搬送	3件	NICU稼働率	74.2%
新生児搬送	0件	MFICU稼働率	86.6%

（令和6年3月）

『サクラが咲いたよ』



編集後記

4月も後半に入り、初夏の陽気が続いています。春の味覚「旬」も今年は豊作のようです。今月掲載のマタニティレシペで使用したいりこやアーモンドは、普段の食事では不足しがちな亜鉛や鉄分も摂取できます。小腹がすいた時のおやつにもぴったりですね。（母子保健室）



周産期センター
キャラクター
マミー&メイ

by お飾り隊